

事務事業名		国保診療所患者輸送車運行事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進				事業期間		予算科目			
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進									
	基本事業名	02 地域医療体制の充実									
根拠法令						☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成13 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01 04 01 07 00			
所属	部課名	生活福祉部国保年金課									
	課長名	大浦 公友									
	係名	越喜来診療所	電話 44-2103								
	担当者	朴澤 太一	内線								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
・交通機関のない地域へ患者輸送車を運行し、国保診療所を利用する患者への利便を図る。 ・主な業務は、綾里、越喜来地区における患者輸送車の運行。 ・事業費の内容は、患者輸送車運行業務委託料、患者輸送車維持管理費(修繕費、燃料費)である。 ・東日本大震災により越喜来の車両が被災し、綾里地区の1台のみで運行していたが、地域住民からのバス復活を望む声が強いため、平成24年7月に支援車両が配置となり、越喜来地区の運行が再開した。 ・綾里診療所の平成8年に購入したマイクロバスがで老朽化して運行に支障が出てきたことから、支援により車両を更新した。前回よりは小さいワゴン車にし、効率的な運行に努めた。						総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金			
								都道府県支出金			
								地方債			
								その他			
								一般財源			
								事業費計(A)	0		
人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計(B)	0									
	トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	単位
患者輸送車の運行		ア 患者輸送車運行日数	日
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
患者輸送車の運行		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
主に三陸地区(綾里・越喜来)の住民		名称	単位
		カ 行政区域内人口	人
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
交通機関のない地域へ患者輸送車を運行し、国保診療所を利用する患者への利便を図る。		名称	単位
		サ 患者輸送車利用者数	人
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
早期に適切な医療が受けられる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,136	2,965	3,964	3,453	5,937
	人件費	事業費計(A)	千円	2,136	2,965	3,964	3,453	5,937
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100
		人件費計(B)	千円	400	400	400	400	400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,536	3,365	4,364	3,853	6,337
⑤活動指標	ア	日	204	417	478	483	478	480
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	人	5,335	5,244	5,186	5,190	5,076	4,850
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	人	1,203	2,978	3,536	3,576	3,578	4,000
	シ							
	ス							

事務事業ID	0304	事務事業名	国保診療所患者輸送車運行事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
・綾里診療所（開始当時は病院）、越喜来診療所を開設し、患者の利便性向上を目的とする患者輸送車の運行を開始した。
※運行開始年度は不明である。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
・東日本大震災にて越喜来診療所の車両が流出し、平成24年7月まで運行を中止していたため利用者数が一時減少したが、車両導入後は利用者数が増加した。
・平成26年度まではシルバー人材センターに委託していたが、派遣法により再委託ができなくなったため、27年度からは民間派遣会社に委託したことから事業費が増加となった。
また、28年度からは派遣法の改正により、シルバー人材センターへの再委託が可能となったが、運転手の派遣の継続性の観点から、再度民間派遣会社への委託となった。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
・高齢者など車で移動できない患者にとって無くてはならないものであり、このまま継続するよう求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	地域の医療ニーズに応えるべくこの事務事業を推進し、成果（病気の治療、健康の増進）をあげることで、市民一人ひとりの健康づくりの一環として重要な役割を果たしていることから政策体系と結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	三陸地区は交通機関が乏しく、診療所を利用する患者のほとんどは高齢者であり、いわゆる交通弱者であることからバスの運行は通院のきっかけとなる。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	鉄道やバスがあるが、駅やバス停からの距離、本数の少なさなどを考慮すると患者にとって必要な移動手段となっており、対象・意図は妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	診療時間に合わせた時刻表となっており、このまま継続することが望ましいと思われる。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	患者の大半が高齢者であり、公共交通機関が乏しいことから、廃止による影響は大きいと思われる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	三陸地区には公共交通機関が乏しい統廃合の余地がない。また、商業観光課所管の三陸町越喜来の路線バスの運行も兼ねており、患者輸送以外の面でも有効な事業運営を行っている。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	運行業務を外部委託しており、時刻表も診療に合わせて半日に設定している。これ以上の削減は難しいと思われる。	
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	人件費は無く、委託業務としている。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	利用料は無料だが、旧三陸町内のみの制度であり、旧大船渡市には無いサービスで公平とはいえず、見直しの余地はある。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	旧三陸町内のみでの制度であり、旧大船渡市との関係からは公平とはいえず見直し余地はあるが、三陸地区は公共交通機関が乏しく、患者輸送車の利用者がほとんど高齢者である。 そして、越喜来地区は仮設住宅を回るルートの設定の要望が強かったことから、平成24年7月から仮設住宅を中心とした路線とした。	
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり												
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果													
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 今後の事業継続の可否については、公平性の観点からの検討が必要ではあるが、三陸地区には公共交通機関が乏しく、患者輸送車の利用者はほとんど高齢者であるため、一定の配慮も必要である。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)			
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持										
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)														
<table><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>		成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
成果	向上													
	維持			●	×									
	低下		×	×										
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等														
震災後、地区によっては居住環境が変化しているところがあり、ルート、時間等を平成27年度に一部変更した。今後も再確認を行い、地域の現状に沿った運行に資するものとする。														

4 事務事業の2次評価結果

(職 名)	※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	国保年金課長	大浦 公友

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- | | | |
|---------|--|---|
| ① 目的妥当性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ② 有効性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ③ 効率性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ④ 公平性 | ☐ 適切 | ☒ 見直し余地あり |

(3) 評価結果の根拠と理由

三陸地区の住民のみの利用であり、他地区との公平性に欠ける面がある。
綾里地区の患者輸送車両が民放テレビ局の支援により小型車両に更新されたことは一定の評価。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- | | | | | |
|---|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 廃止 | ☐ 休止 | ☐ 目的再設定 | ☐ 事業統合・連携 | ☐ 現状維持 |
| 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善) | | | | |
- (上記方向性に対する具体的な内容)
- 今後も事業は継続するが、綾里地区の運行については効率性を再検討する必要がある。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

成果	向上		●	
	維持		○	×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項